

学会告知板

第 24 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

—弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ—

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 9—」

期 日 ●2027 年 2 月 27 日(土) 14:45~17:15

開催形式 ●Web 開催 + オンデマンド配信

講 演 ●1. 外斜視手術における MP-3 機能評価と術後矯正効果

近江正俊(関西医科大学)

2. 斜視手術の安全性を考える—斜視手術の合併症に関する全国調査(JASS Study)

山本昭成(京都大学)

3. 小児眼科画像診断の基礎とアップデート: OCT で読み解く構造と機能

西 智(奈良県立医科大学)

4. 視能検査を学ぶ その 1

立体視検査の特性から閾値データの取り扱い, グラフの描き方まで

前田史篤(新潟医療福祉大学)

5. 特別講演 複視の見方と考え方

佐藤美保(浜松医科大学)

6. レチノスコーピー講習会(Web のみ)

登録料 ●医師 3,000 円, 非医師 1,000 円

主 催 ●近畿弱視斜視研究会

(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 増田明子, 三宅三平, 宮田 学, 村木早苗, 森本 壮, 西 智, 野村耕治, 佐々本研二, 下條裕史, 白井久美, 四宮加容, 杉山能子, 菅澤 淳, 立花都子, 近江正俊, 内海 隆, 山本昭成, 横山 連)

参天製薬株式会社

事務局 ●森本 壮(大阪大学眼科学教室)

問い合わせ窓口 ●加藤大貴(参天製薬株式会社)

Tel : 0120-310-106 / e-mail : daiki.kato@santen.com

学会告知板

第 259 回 O.C.C. ご案内

日 時 ●2026 年 10 月 17 日(土) 14:00~17:00

場 所 ●第二吉本ビルディング

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 2 番 2 号

ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 8 階

テーマ ●「メディカル網膜・眼炎症 2026: 最近の Topics」

連絡先 ●大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

Tel : 06-6879-3456 / Fax : 06-6879-3458

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2026 年度「研究助成」応募のご案内

財団法人 高齢者眼疾患研究財団は 1993 年に、高齢者の視力障害をきたす疾患に関する調査・研究・国際協力等を行い、国民の健康の増進および眼科学の進歩に寄与することを目的に設立しました。

その後 2013 年に、内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団となりました。

当財団は活動の一環として、「悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究」に対し下記の要件にて研究助成を実施しております。

対 象 ●悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究(個人研究、共同研究可)

資 格 ●応募者の職務は常勤が望ましい

研究期間 ●2027 年 4 月から 2028 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●1 件 100 万円

締め切り ●2026 年 12 月 15 日 必着

応募方法 ●申請書等用紙は、返信用封筒(210 円切手貼付)を同封のうえ、本財団に請求すること
※申請書をデータで請求する場合、本財団ホームページ(www.rfeda.or.jp/)の研究助成事業よりダウンロードすること

応募書類請求先/送付先 ●公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
佐伯眼科クリニック内 事務局：馬場華子
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177

選考方法 ●高齢者眼疾患研究財団助成選考委員会の審査に基づいて理事会で決定する。結果は 2027 年 2 月末以降に研究代表者に連絡する

助成金の交付 ●助成決定者に対し、2027 年 3 月以降に交付する

研究結果発表 ●研究終了 1 年以内に研究実績報告書を提出すること
※研究成果を学術雑誌に発表する際には、高齢者眼疾患研究財団の研究助成を受けていることを明示すること

その他 ●助成対象事業に係る収入および支出を明らかにした帳簿(証拠書類を含む)を備えること

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177
ホームページ：www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三

学会告知板

第 50 回日本眼科手術学会学術総会

会 期 ●2027 年 1 月 29 日(金)～1 月 31 日(日)

会 場 ●東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号

総会長 ●稲富 勉(国立長寿医療研究センター 感覚器センター長／京都府立医科大学)

副会長 ●鈴木 聡(愛知県眼科医会, 会長)

学術総会テーマ ●原点回帰と未来への革新 Back to the Basics & Future Innovation

学術総会ホームページ ●<https://www.jsos.jp/jsos50>

プログラム(予定) ●「サージャンなら新しい術式開発を目指そう」

演者：瓶井資弘(愛知医科大学)

演者紹介：門之園一明(横浜市立大学・視覚再生外科)

「房水メディエーターから考える緑内障病態と手術戦略」

演者：本庄 恵(東京大学)

演者紹介：相原 一(東京大学)

International 50th JSOS symposium

「Beyond Cataract Surgery：The Global Future of Refractive Cataract Surgery」

Thomas Kohnen(Germany)

Terry Kim(USA)

50 周年記念企画：原点回帰 ―日本眼科手術 50 年の歩みと未来への継承―, 総会長企画, シンポジウム, 教育セミナー, 一般講演, 学術展示, インストラクションコース, ナーシングプログラム, 視能訓練士プログラム, 市民公開講座, 共催セミナー

演題募集 ●一般演題募集期間：締切りました。

インストラクションコース ●インストラクションコース募集期間：締切りました。

参加登録 ●事前早期登録期間(早期)：締切りました。

事前通常登録期間(通常)：2026 年 8 月 21 日(金)～11 月 12 日(木)

	事前参加 (通常)	当日登録
会員	¥15,000	¥20,000
非会員	¥20,000	¥25,000
大学院生・後期研修医	¥8,000	¥10,000
コメディカル	¥3,000	¥5,000
コメディカルサンデーパス (1 月 31 日のみ参加)	—	¥3,000
初期研修医・学生・留学生	—	無料
企業	—	¥5,000(※)

(※)企業展示会場のみ入場可

※詳細は、学術総会ホームページにてご案内いたします。

連絡先 ●第 50 回日本眼科手術学会学術総会 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

コンベンション事業局内

〒530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜 1-1-27 大阪堂島浜タワー 5 階

e-mail：jsos50@jtbcom.co.jp

The 29th IRSJ(2026)第 25 回眼科臨床機器研究会 ジョイントセミナー

会 期 ● 2026 年 11 月 14 日(土) 12:30~17:15

会 場 ● 横浜シンポジア

〒 231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 9 階
Tel: 045-671-7151

会 長 ● ジョイントセミナー会長: 清水公也(山王病院アイセンター)

The IRSJ 会長: 飯田嘉彦(北里大)

眼科臨床機器研究会会長: 庄司信行(北里大)

プログラム ● The 29th IRSJ(2026) 12:30~13:50

オーガナイザー: 川守田拓志(北里大・医療衛生)

メインテーマ「老視矯正手術」

モデレーター: 飯田嘉彦(北里大), 川守田拓志(北里大・医療衛生)

「多焦点 IOL の術前検査」 磯村俊也(広田眼科)

「早期老視年齢における屈折矯正手術」 五十嵐章史(代官山アイクリニック代官山院)

「多焦点および焦点深度拡張型眼内レンズによる老視矯正」 柴 琢也(六本木 柴眼科)

「眼内レンズによるモノビジョン」 飯田嘉彦(北里大)

第 25 回眼科臨床機器研究会 14:00~17:15

※日本眼科学会専門医認定事業(12745)申請中

【講演 I】「白内障・硝子体手術装置 UNITY® SYSTEM」

モデレーター: 柳田智彦(北里大)

①UNITY Vitreoretinal Cataract System 眞杉拓自(日本アルコン株式会社)

②硝子体手術での使用経験 大江阿子(北里大)

③UNITY VCS の前房安定性の基礎的評価と臨床的有用性 鈴木久晴(善行すすき眼科)

【講演 II】「次世代型ハイスpek OCT: 400kHz がもたらす知見」

モデレーター: 平澤一法(北里大)

①BMizar 製品説明 古川健太郎(株式会社ニコンソリューションズ)

②OCT 400kHz の世界(仮) 武田大輔(アールイーメディカル株式会社)

③DREAM OCT の使用経験について 西山剛生(北里大)

④BMizar がもたらす網脈絡膜の新知見 星野順紀(群馬大)

【講演 III】「小児眼軸測定 OA-1 および小児近視矯正」

モデレーター: 龍井苑子(北里大・医療衛生)

①OA-1 の製品紹介と開発コンセプト 川村憲司(株式会社トーマコーポレーション)

②北里大学における OA-1 の使用経験 鷺澤真之(北里大・医療系研究科)

③小児近視における眼軸長測定の役割 糸川貴之(東邦大・大森)

申込み方法 ● 下記 URL よりもしくは QR コードよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S98332121/>



事前登録締切: 2026 年 10 月 16 日(金)

主 催 ● 北里大学眼科

連絡先 ●〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-4-7

スタッフルームタケムラ有限会社内

IRSJ・眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー事務局

Tel : 03-5287-3801 / Fax : 03-5287-3802 / e-mail : rssympo@staffroom.jp